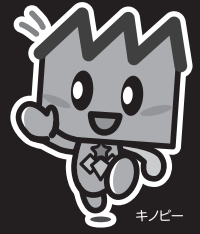


平成27年5月1日

No.240



きりゅう 市議会だより



飼育の日メェーんなどでトリませんか？動物撮影会（桐生が岡動物園）

平成27年第1回定例会は、2月23日(月)に招集され、3月19日(木)までの25日間の会期で開かれました。

この定例会では、市長提出議案など45件の審議を行い、それぞれ可決、同意、又は異議ない旨回答することに決定しました。

主な掲載記事

- 一般質問……………2～4
- 陳情の審査結果・人事案件など……………4
- 平成27年度予算を可決……………5
- 議案と結果……………6～7
- 笹川堯氏、名誉市民に
議会改革の取り組みについて……………8

一般質問

質問者

岡部 純朗 (桐両クラブ)
 渡辺 修 (無党派)
 北川 久人 (創志会)
 福島 賢一 (桐新会)
 西牧 秀乗 (無党派)
 人見 武男 (創志会)
 伏木 康雄 (無党派)
 森山 享大 (創志会)
 山之内 肇 (公明クラブ)
 小滝 芳江 (フォーラム桐生)
 飯島 英規 (無党派)
 周藤 雅彦 (フォーラム桐生)

3月18日(水)・19日(木)の2日間にわたり、12人の議員が一般質問を行い、市政に関する問題について、市当局の見解を求めました。

※氏名の後のカッコ内は所属党派名(無党派は、会派に属さない議員)

北関東へのアクセス道路

岡部 純朗 (桐両クラブ)

質問 (仮称)太田スマートICへの直結道路は、松(太田数塚インターチェンジ)



原橋からが最も効率的と思えるが、市の考えは。

答弁 松原橋から直結するアクセス道路は、直線距離が短いことから事業実施期間も短縮されると思われるが、いずれにしてもルート

の選定にあたっては、関係自治体の協力が不可欠である。

今後、県・太田市・桐生市とで構成する太田桐生地域広域幹線道路勉強会の中で、北関東自動車道への効果的なルート選定を、多角的に検討していきたいと考えている。

新たな介護保険制度

渡辺 修 (無党派)

質問 新制度移行後のサービス人員の確保など、具体的な対応は。

答弁 サービスの担い手には、元気な高齢者の参加も視野に、取り組みこととなっており、活動を通じて参加者自身の生きがい作りや仲間作りに寄与できるものと考えている。

桐生市では、介護サポーターを始めとして認知症サポーター、介護予防サポーター事業など、高齢者のポ



(元気に運動する参加者)

ランテニア活動を推進してきた経緯もあるので、より多くの高齢者に参加していただけるよう、事業をすすめた。

消防団員への出動手当

北川 久人 (創志会)

質問 災害活動等に従事する消防団員に対する出動手当について、通常の想定を超えるような、連日出動しなければ対応しきれないほどの災害の場合に、団員に対して、手当を支給する考えは。

答弁 消防団は、災害発生時の防衛活動や住民の避難誘導等、地域防災力の中核として欠かすことの出来ない重要な役割を担っている。今後、数日間に及ぶよ



うな、火災、地震、風水害等の災害、人命捜索等に従事した消防団員に対して、手当等を支給できるように早急に検討したい。

(消防団の活動風景)

交通安全対策について

福島 賢一 (桐新会)

質問 桐生大橋線の足仲団地へ向かうT字路交差点の信号機に、右折矢印信号機を設置できないか。

答弁 現在は、時差式信号機として改善され、標識板を設置して運用しているが、再度、矢印信号機の設置について桐生警察署に問い合わせたところ、信号機については群馬県公安委員会が設置、維持管理しており、右折矢印表示については、原則として十字路交差



点に設置しているとの見解を伺っている。しかしながら、今後も右折矢印信号機の設置については、粘り強く改善要望をしていきたい。

(桐生大橋線T字路)

施設の建て替えについて

西牧 秀乗（無党派）

質問 現在、老朽化による公共施設の建て替えが喫緊の課題となっているが、建て替えを進める中で、環境先進都市を目指す桐生市として、地中熱利用方式等の環境にやさしい施設づくりを目指す考えはあるか。

答弁 現在、公共施設等総合管理計画の策定に向け準備中であるが、計画の策定に当たっては、環境に配慮した公共施設のあり方や市の将来的な財政負担を軽



（桐生市役所）

減することも目的の一つであるので、地中熱等の各種システムを導入することの費用対効果などを勘案した上で、検討していきたい。

みどり市との合併

森山 享大（創志会）

質問 飛び地合併解消の必要性について。

（両市長による会見の様子）



答弁 両市が合併してひとつになれば、飛び地が解消され、桐生市とみどり市の境界付近で生じていた問題などの解決が容易となる。

また、両市はひとつの生活圏でありながら様々な特色や機能を有するエリアが存在しており、これらエリアごとの特色を最大限活かすと同時に、地域で不足する要素が生じた場合は、相互に補完しあうことも容易にできるようにする。

いずれにしても、今後のみどり市との合併には全力で取り組んでまいりたい。

ボランティア支援方針

人見 武男（創志会）

質問 市民活動やボランティア活動の取り組みに対して（ボランティア清掃風景）



する今後の支援は。

答弁 社会に貢献したい人と、支援を求める人をより多くつなげるために、パソコンや携帯電話などの情報端末から簡単にアクセスして一元化されたボランティア情報等の閲覧や検索機能を活用し、効果的にマッチングを図ることのできるサイトを新年度に構築する。自主的なボランティア活動への参加をさらに促進し、元気で活力あるまちづくりや、安心して活動に参加できる市民目線からの環境づくりの推進に努めたい。

防犯灯事業の更なる充実

山之内 肇（公明クラブ）

質問 現状の運営方法は、管理の煩雑化や費用など町会・自治会の負担が大きい。住民の安全安心のため、防犯灯の管理主体を市に移行または町会・自治会と役割分担をするなど、市が積極的かつ総合的に関わる必要があると思われるが。



（LED防犯灯）

答弁 平成二十五年度に実施した防犯灯のLED化は、電気料金や維持管理費など町会・自治会の負担軽減に大きく寄与できたと考

えている。今後も、防犯灯事業の更なる充実のため、先進自治体の事例等も参考にしながら、研究を深めていきたい。

市役所機能の一部移転

伏木 康雄（無党派）

質問 本町通りの空き店舗へ市役所機能を一部移転することについて、市の考えは。

答弁 中心市街地の商店街は、商圏人口の減少や大型ショッピングモールの出店などの競争激化等により、厳しい状況が続いている。本件については、空き店舗対策になると考えるが、事務処理時間の増加による時間的ロス、ワンストップ化への逆行や管理経費の増



（本町通り）

加等といった市役所機能が分散することによる課題もあり、実現はなかなか難しいと考えるが、引き続き研究していきたい。

地方創生について

小滝 芳江（フォーラム桐生）

質問 桐生版総合戦略の策定に係る考え方は。

答弁 当市のさまざまな基礎データの分析や住民の意向調査など戦略策定に必要な調査業務を民間コンサルに委託し、戦略策定の根幹をなす部分を自前で策定する予定で準備を進めている。また、国からは策定プロセスの段階から住民・産業界・教育機関等で構成する推進組織を立ち上げ、広く関係者の意見が反映され

るよう示されているため、これらを踏まえ、より実効性の高い桐生版総合戦略が策定できるよう体制の整備を図っていきたい。

（桐生市役所）



陳情の 審査結果

この定例会では、陳情4件の審査を行い、その結果、1件が不採択、3件が継続審査となりました。また、継続審査となっていた陳情2件については、提出者から取り下げがありました。

◎不採択となった陳情

付託委員会	受理番号	件名
教育民生委員会	第16号	放課後児童クラブの運営状況に関する陳情

◎継続審査となった陳情

付託委員会	受理番号	件名
総務委員会	第4号	国に対する意見書の提出を請う陳情
経済建設委員会	第14号	「非婚のシングルマザーを寡婦とみなし、市営住宅家賃に寡婦控除を適用する条例」の制定を求める陳情
教育民生委員会	第15号	「非婚のシングルマザーを寡婦とみなし、保育料に寡婦控除を適用する条例」の制定を求める陳情

◎取り下げとなった陳情

付託委員会	受理番号	件名
経済建設委員会	第6号	非婚のシングルマザーを寡婦とみなすよう、議会が市にはたらきかける陳情（市営住宅家賃）
教育民生委員会	第8号	非婚のシングルマザーを寡婦とみなすよう、議会が市にはたらきかける陳情（保育料）

お知らせ

市議会だよりは、紙面の都合で発言の一部(要旨)を掲載しています。詳しくは、図書館で会議録をご覧ください。

平成27年第1回定例会の会議録は、6月上旬からご覧になれます。なお、会議録は桐生市ホームページからでもご覧いただけます。

合併後のブランドイメージ

飯島 英規(無党派)

質問 居住する地域に誇りや愛着、自尊心が持てる時、その地域に住み続けようという気持ちになる。そのブランドイメージがみどり市と桐生市が合併した上での「歴史文化都市」であるかと考えるが、見解は。

答弁 桐生市は、他市にない歴史文化、そして自然を兼ね備えた、すばらしい町である。現在進めている新市建設研究会において、合併後、どのようなブラン

(本町通りの町並み)



ドイメージを持たせるかも協議しながら、新しい未来に向けて、我々が住んでいる地域の魅力を発信していきたい。

限られた土地の有効活用

周藤 雅彦(フォーラム桐生)

質問 人口減少対策の観点から未利用の市有地の有効活用(市内の空き地登録物件)



有効活用についての考えは。

答弁 土地の有効活用という点では、空き家・空き地バンクを始めとした定住促進事業の拡充や市営住宅跡地の宅地分譲など、既存資源の有効的な活用を行っている。今後は「空家等対策の推進に関する特別措置法」の成立を契機とし、空き家等の有効活用の視点も含め、良好な住環境の創出を図ることにより、誰もが住みたいと思えるまち、誰もが住み続けたいとなるまちの実現を目指し、効果的な施策を展開していきたい。

桐生市議会委員会 条例の一部を改正 する条例案を可決

委員会の審査等の説明のための出席要求について、教育委員会の委員長を教育長に改める等の条例案が議員により提出され、審議の結果、可決されました。

人事案件

市議会は、次の人事案件に異議ない旨回答することに決定しました。

人権擁護委員候補者

鶴谷 勝正氏
(再任)

林 行弘氏
(再任)



平成
27年度

予算を可決

この定例会では、平成27年度桐生市一般会計予算及び11事業の特別会計予算並びに桐生市水道事業会計予算について審議を行い、それぞれ可決しました。なお、同予算を可決するにあたっては、予算特別委員会（委員18人で構成）を設置し、3日間にわたり慎重に審査を行いました。本会議における討論の概要は左記のとおりです。



（審査の様子）

賛成討論

平成27年度の予算規模は460億円となり、前年比3.6%増の積極的な予算である。その中で、投資的経費は、前年比17.7%増、金額にして6億8,489万9,000円増の45億5,158万5,000円となり、これまで市長をはじめとする当局執行部が行財政改革に積極的に取り組み、その成果と生効果のみ出したことにより、弾力性のある行財政運営の実現に近づけたものと敬意を表するとともに、高く評価する。

主要事業として、重伝建地区整備は、桐生市に観光客を呼び込むための大切なポイントであり、観光客誘致の面では、桐生が岡動物園の充実にも期待を寄せるものである。住宅取得応援事業については、これまでを充分検証し今後も積極的な展開を期待する。また、子育て就労者市内居住奨励補助金も評価できる事業である。梅田台緑地整備について、同緑地はロウバイでも有名であり、ボート乗り場にも隣接していることから誘客も期待できるので地域住民と協議し市民に喜ばれる場所となることを要望する。小中学校の第3子以降給食費無料化については、子育て世帯の負担軽減につながることから積極的に進めることを要望する。

歳入については、景気が回復傾向にあると言われている昨今でも前年と比べ、市税や地方交付税は微減の見込みで、自主財源は46.1%、依存財源が53.9%となり、依然として依存財源に頼らざるを得ない財政状況である。

当市には人口減少、みどり市との合併などまだまだ問題点はあるが、将来を見据えた元気で活力あるまちづくりのため、市長をはじめ全庁体制での予算執行をお願いし、賛成討論としたい。

反対討論

今必要なのは、多くの市民が毎日の生活を通して実感している困難に寄り添い、税の負担を軽減することを含めて、自治体本来の福祉の増進に寄与する行政の姿を市民に示すことだと考えるが、本予算案は不十分と言わざるを得ない。

平成27年度予算の個々の施策については、評価するが、予算案となると人件費部分が多く含まれており、しかも今回は人事院勧告に伴う給与や期末・勤勉手当を引き上げた上での予算である。

今求められているのは、引き上げではなく、むしろ引き下げであり、公僕と言われる人たちが、自ら身を切り、国民・市民と痛みを分かち合うその姿勢そのものであると、主権者市民の視点で声を大にして申し上げ、反対討論としたい。

一般会計の補正予算

○平成26年度桐生市一般会計補正予算（第8号）

可決

歳出予算の主な補正内容

- 総務費交通対策費
地域公共交通体系改善事業
（おりひめバス購入費ほか）
……………6,805万4,000円の追加
- 商工費商業振興費
スーパープレミアム付き商品券発行支援事業
（補助率30%のプレミアム付き商品券発行支援補助金）
……………1億9,100万円の追加
- 土木費公園費
動物園観光促進ウェルカム事業
（ライオン舎新設費ほか）
……………1億400万3,000円の追加
- 消防費災害対策費
自主防災事業
（土砂災害警戒区域ハザードマップ作成ほか）
……………1,303万7,000円の追加

議案番号・議案		議員氏名														結果							
		北川久人	人見武男	井田泰彦	飯島英規	新井達夫	岡部純朗	渡辺修彦	周藤雅大	森山享司	荒木恵乘	西牧秀雄	伏木康肇	山之内照二	周東芳江		小滝俊雄	幾井光一	佐藤賢好	福島幸一	佐藤幸三	園田恵三	
市 長 提 出	議案第24号	平成26年度桐生市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第25号	平成26年度桐生市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第26号	平成26年度桐生市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第27号	平成26年度桐生市発電事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第28号	平成27年度桐生市一般会計予算	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第29号	平成27年度桐生市学校給食共同調理場事業特別会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第30号	平成27年度桐生市国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第31号	平成27年度桐生市下水道事業特別会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第32号	平成27年度桐生市簡易水道事業特別会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第33号	平成27年度介護保険事業特別会計予算	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第34号	平成27年度農業集落排水事業特別会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第35号	平成27年度桐生市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第36号	平成27年度桐生市新里温水プール事業特別会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第37号	平成27年度桐生市宅地造成事業特別会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第38号	平成27年度桐生市発電事業特別会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第39号	平成27年度桐生市後期高齢者医療事業特別会計予算	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第40号	平成27年度桐生市水道事業会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第41号	桐生市名誉市民条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第42号	桐生市名誉市民の推挙につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	異議のない旨回答することに決定
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	異議のない旨回答することに決定	
議員提出	議案第1号議案	桐生市議会委員会条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決



笹川 堯氏

たかし 笹川 堯氏 8人目の名誉市民に

笹川堯氏（昭和10年10月5日生）に、桐生市名誉市民の称号を贈ることが決まりました。

この称号は、昭和61年に初当選以来、23年もの長きにわたり衆議院議員を務められ、国政の中核において同氏が残された功績や、郷土桐生においても、赤岩橋、錦桜橋の架け替え、中通り大橋の開通など、一つ一つをあげれば枚挙にいとまがありませんが、同氏の多大な功績をたたえ、市民敬愛の対象として、その功績を永く後世に継承していくために贈られるものです。

なお、既に、前原一治氏、森喜作氏、佐々木元吉氏、荒木歎一郎氏、長谷川四郎氏、川村佐助氏、小山利雄氏の7人が名誉市民の称号を受けています。

議決事項

○桐生市名誉市民の推挙につき同意を求めることについて

議会改革



市議会は取り組んでいます！

桐生市議会では、開かれた議会の実現を目指し、さまざまな議会改革を行いました。

今号では、平成23年5月から平成27年4月までに実施された主な項目についてお知らせします。

今後も更なる改革に向け努力していきます。

1 一般質問に一問一答方式を導入

質問と答弁のやりとりをわかりやすくするため、従来の一括方式のやり方に加え、一問一答方式でも一般質問ができるようになっていましたが、平成25年第4回定例会からは一括方式を廃止し一問一答方式に統一しました。

2 全議員による予算・決算特別委員会の設置

平成23年第3回定例会から正副議長及び議会選出監査委員を除く全ての議員を決算特別委員会委員として決算審査を行い、平成24年第1回定例会から正副議長を除く全ての議員を予算特別委員会委員として予算審査を行うようになりました。また、審査日数を従来の2日間から3日間に増やしました。

3 議長定例記者会見の開催

議会の活動を広くお知らせするために、本会議における活動のほか、休会中の活動について、記者会見を開催し議長による情報発信を行っています。なお、実施時期については各定例会終了後の実施となります。

4 その他

桐生市議会基本条例の施行、本会議における議員表決の賛否公表、議員提出議案や請願・陳情の公開、インターネットによる議会中継・録画中継、ツイッター・フェイスブックの活用、住民参加による議会報告会・意見交換会の開催、FM放送による桐生市議会情報番組「K J」の発信、議員の旅費の見直し等、さまざまな項目を実施しました。

再生紙を使用しています。